

## 各地の話題 富谷市



2020年5月1日号掲載

### あま〜い！イチゴで産直に取り組んでいます！



富谷市明石地区で専業農家の後継者として農業を営む佐藤剛さん(35)は、水稲を中心に野菜や果樹を栽培している。なかでも特にイチゴの栽培に力を入れている。

イチゴとの出会いは、農協が主催する研修会に参加した時のこと。イチゴで有名な山元町の農家の方が震災避難

先の黒川地域内で栽培していたイチゴのハウスを訪れ、その時に食べたイチゴに大変感銘を受けた。「黒川地域でもこんなにおいしいイチゴが作れるのか。自分もこんな美味しいイチゴを作りたい」と思ったことが栽培のきっかけ。

今年でイチゴ栽培を始めて6年目。栽培用のハウスは3棟、約270坪の面積で約7,000株を栽培している。栽培の技術については農協が開催したイチゴ塾への参加や山元町のイチゴ農家の方に指導を受けながら学んだ。現在は近隣スーパーの直売コーナーや市内スイーツ店などに卸している。

佐藤さんは今後、「とちおとめと土耕栽培にこだわって、栽培面積を増やしたい。多くの方々においしいイチゴを食べてもらい、喜んでもらえるよう頑張りたい」と意気込みを語った。

【記事提供：富谷市農業委員会】